

大増税計画による 市民生活への影響を問う

板倉真也(日本共産党)

①国の増税政策により、サービス利用者が住民税非課税から課税に変わったことにより、利用者負担額に影響のある事業、利用できなくなる事業、利用者負担金が増加する事業が出てくる。引き続き利用できるように軽減措置、事業の範囲を拡大・拡充するこ



とが必要。

②東京都市、認可保育所運営費の都加算補助など13事業を今年度で廃止し、来年度から子育て推進交付金に再構築することを提案した。市長はどう考えているか。

階層に移行するような措置を考えている。

③東京都は、認可保育所運営費の都加算補助など13事業を今年度で廃止し、来年度から子育て推進交付金に再構築することを提案した。市長はどう考えているか。

④市長 今までの補助金の額を確保していく必要があると思う。都が培ってきた事業を市におろすことにより、各市の財政状況で、ばらつきが出る。この辺を考えた上で、市長会等で対応していきたい。

南口再開発が市内商工業発展に資するため

伊藤隆文(自由民主党)

南口再開発の影響と対策は。①工事中では(ア)工事期間は(イ)工事に地元業者の参入は(ウ)中央線高架工事との錯綜は(エ)工事車両、騒音や埃対策は(オ)バス停位置と工事区画フェンスの照明、仮営業所は。②事業完成後では(ア)駅周辺全体の事業構想は。(イ)中央線高架



の中心にどんな機能を導入するのがふさわしいのか市民参加で検討すべきではないか。都市建設部長 (ア)市民公募委員2名を含む「JR中央線連続立体交差事業関連まちづくり委員会」でご質疑をいただいている。新たな委員会を設置する考えはない。(イ)ご提示いただいた福井駅等も参考にしながら、どういった形で高架下利用が図れるのか、いろいろご意見等も伺った中で計画を策定していきたい。

との相乗効果は。(ウ)駅利用者の小金井街道横断時の安全対策は。(エ)人や車の流れの変化は。(オ)購買力が集中しないか(カ)中央線高架下利用についてのコンセプトは。

街づくり担当部長 ①(ア)平成20年度末完了(イ)地元業者育成を都市機構に要請(ウ)市民に影響最少に(エ)車両の安全や騒音、埃防止検討中(オ)バス停は調整中。フェンス照明等は必要。仮営業所は街道沿い(ア)具体計画ないが農工大通り、蛇の目通りカラー舗装予定(イ)乗降者数約10%増(オ)大規模店舗商圏半径3km来外者増。

都市建設部長 ②(イ)特快停車は厳しい。横断者は信号と横断歩道で安全に。(カ)町会集会所等は検討の要あり。

経済課長 ②(エ)現在の六地藏の恵み黄金の水に回遊期待。市長 ①②再開発は地元の要請。地元から提案欲しい。



武蔵小金井駅南口の商店街

JR高架下の有効利用 を市民参加で

青木ひかる(みどりの風)

高架下利用について来年度市民にアンケートなどで意見を聞くとのことだが、進め方として、行政の使いたいところを先に決めて残った面積を市民の意見を聞くという形になっている。また、全体としてのコンセプトの検討が全くなされていない。(ア)新たに市



民を公募して、市民参加の高架下利用検討委員会を設置し、検討すべきではないか。(イ)福井市は福井駅高架下利用計画策定委員会を設置して高架下利用について審議し、「産業観光、文化などの福井の誇りと宝の創造と発信拠点の場所」などのコンセプトを定め、小金井市の場合にもまち

子育て支援体制の 充実を

五十嵐京子(改革連合)

①貫井北町の子ども家庭支援センターが好評であるが、さらなる充実のために、(ア)市内東方面で経費面も考慮し、児童館を活用して同様のサービスを拡充しないか。(イ)虐待相談対応事業の充実を。(ウ)育児教室であるエンゼル教室などを増やさないか。(エ)幼保総



合施設の研究をしないか。福祉保健部長 (ア)児童館運営審議会の答申を受け、現在児童館一館を委託したいと提案しており、その中で広場事業を充実していきたい。子育て支援課長補佐 (イ)平成19年度を目標に先駆型に移行を検討中である。福祉保健部長 (ウ)実施には

クリアすべき課題が多いので今後検討したい。教育部長 (エ)研究してみた。

②平成20年度の市制施行50周年に、(ア)小金井市史発行の検討は。(イ)市民を含めた企画実行委員会を設置しないか。教育部長 (ア)近現代の資料収集は集中的に行っているが、まとめるには時間的に厳しい。記念出版物で小金井桜の集大成など検討したい。企画課長 (イ)18年度早々に

庁内プロジェクトを作りたい。

大型開発最優先から 市民生活最優先へ

森戸洋子(日本共産党)

①デフレ経済のもとで、市民の生活実態は苦しさから脱しきれない。(ア)小金井市が実施した各種調査で、経済的負担の軽減を求めている。また、市内の倒産件数は5年間で32件、負債総額は15億6000万円。生活は厳しくなっている。さらに、行政サービスの格差が



を踏まえ今後も対応する。福祉課長 (ウ)東京都も近隣市と協議をするのは可能(エ)連携を取っていない。

②自転車の安全走行について(ア)危険道路や坂の調査を。(イ)自転車保険への加入を勧めるべき。(ウ)自転車事業者の連携で安全公報の強化を。都市建設部長 (ア)道路管理者として危険な箇所があればすぐ対応する。

防災交通課長 (イ)個人の責任だが、事業者とともに検討する。(ウ)どう徹底するか検討

障害者の所得保障と 就労支援

野見山修吉(みどりの風)

①障害者自立支援法は当事者の意見の反映不十分、高負担等でほとんどの障害者が反対している。市長の見解は。(イ)負担の増加でサービスを受けられない人への対応は。(ウ)障害者就労支援センターは近隣市と連携とあるが可能か。(エ)立川市にある雇用促進機構



との連携は。(オ)非常勤などへの障害者雇用の拡大を。市長 (ア)三障害が一元化され、障害者が働ける社会になつていく方向が前進。福祉保健部長 (イ)利用者負担がわかりにくい状況だが、国に更なる激変緩和措置を要する。(オ)環境政策課にも協力をお願いしたい。質問の趣旨

を踏まえ今後も対応する。福祉課長 (ウ)東京都も近隣市と協議をするのは可能(エ)連携を取っていない。

②自転車の安全走行について(ア)危険道路や坂の調査を。(イ)自転車保険への加入を勧めるべき。(ウ)自転車事業者の連携で安全公報の強化を。都市建設部長 (ア)道路管理者として危険な箇所があればすぐ対応する。

防災交通課長 (イ)個人の責任だが、事業者とともに検討する。(ウ)どう徹底するか検討

までは市民サービスに税金が回らなくなる。市民の生活を犠牲にする武蔵小金井駅南口再開発事業計画は撤回し、見直すべきである。市長 (ア)開発に関する市民の希望は高い。都市間競争に勝てる将来につなげるまちづくりにも使っていきたい。(イ)小金井市の財政状況から十分耐えられる金額だ。この他、ごみの有料化問題、燃やすごみの国分寺市との共同処理問題を質問しました。



緑町にある障害者福祉センター